

加賀市 農業委員会 だより

No.14

2023.12 発行

加賀市農業委員会
〒922-8622
加賀市大聖寺南町ニ41
加賀市役所別館4階
TEL 0761(72)7915
FAX 0761(72)7991



記事

- 新会長あいさつ
- 第61回石川県農業委員会大会
- 第7期農業委員会の紹介

表紙

第61回石川県農業委員会大会
(壇上で祝辞を述べる宮元陸加賀市長)

○農地利用最適化推進委員（13名）

・農業委員と連携し、担い手への農地の集積・集約、遊休農地の発生防止・解消や新規就農者の参入を進めるため、担当地区における地域活動を担います。



山口 忠和
(南郷)



紺谷 裕次
(作見)



西井 明
(庄)



水上 達也
(山中温泉、河南、別所、西谷)



中野 正敏
(動橋、分校)



小野田 渡
(大聖寺)



能登 実
(橋立)



角出 昌男
(三木、三谷、塩屋)

委員長

副委員長



前川 政宏
(山代温泉、勅使、東谷口、東谷)



谷口 清治
(山代温泉、勅使、東谷口、東谷)



中出 基久夫
(片山津)



川江 嘉康
(金明)



伊藤 肇
(湖北)



氏名
(担当地区)

いよ動て上画会
きうをいにのがい
まなよま委策発よ
す紙りす員定足い
。面知。のなしよ
作つ農活どま第
りて業動、し7
をい委がこた。期
目た員期れ。農
指だ会待ま地業
しけのさで域委
てる活れ以計員

○編集後記○



第7期会長
中村 義隆

日頃より農業委員会活動に対し、ご理解とご協力を賜り心より御礼申し上げます。

この度、令和5年11月の改選に伴う組織総会において、農業委員の皆様から信任を頂き、第7期農業委員会会長に就任いたしました。

農業委員と農地利用最適化推進委員とが一丸となって加賀市の農業農村の発展に取り組んでまいりますので、よろしく願いたします。

さて、今期は、平成28年の農業委員会法の改正により農業委員と農地利用最適化推進委員が連携して農地利用

の効率化・高度化の促進が農業委員会の必須業務となつてから3期目になります。

法改正以後の2期6年で積み重ねてきた農地利用の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入就農者の促進といった農業委員会の活動を、更に強化継続していかなければなりません。

また、法定化された「地域計画」において、農業委員会は地域計画の要となる目標地図の素案作成や地域の話し合いの場への参加など、地域計画の策定においておきな役割を担うことが期待されています。

耕作者の高齢化や将来的な耕作放棄地等、加賀市の農業農村を取り巻く状況は大変厳しいものがあります。

これらの難題に対し、農業委員・農地利用最適化推進委員が一体となり、関係機関とも連携を密にして取り組んでまいりますので、皆様方のご支援ご協力をよろしく願いたします。

第61回石川県農業委員会大会が加賀市で開催されました。

11月16日、加賀市において第61回石川県農業委員会大会が開催され、県内19市町すべての農業委員会の農業委員や農地利用最適化推進委員約四百人が参加しました。

大会では、全国農業会議所専務理事の稲垣照哉氏による基調講演や石川県農業会議山田会長の挨拶の後、農業政策への提言等の議事が決議され、加納委員による大会宣言に続いて中村会長のガンバロー三唱で締めくくられました。



大会宣言を読み上げる
加納委員

第7期加賀市農業委員会を紹介します。

(任期：令和5年11月13日から令和8年11月12日まで)

○農業委員 (14名)

- ・農地法に基づく農地の権利に関する調査や許可の審議等を行います。
- ・担い手への農地の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消や就農者の新規参入を進めます。
- ・農地利用最適化推進委員との連携を図るため、担当地区を設定しています。

会長



中村 義隆
(南郷、三木、三谷、塩屋)

会長職務代理



山崎 強
(作見)



幸前 敏夫
(山中温泉、河南、別所、西谷)



田端 かず子
(山代温泉、勅使、東谷口、東谷)



加納 文子
(大聖寺)



新保 嘉康
(橋立)



南出 悦也
(動橋、分校)



上木 敏子
(大聖寺)



前野 泰光
(山代温泉、勅使、庄、東谷口、東谷)



永田 素生
(三木、三谷、塩屋)



竹野 哲也
(片山津)



福嶋 敏弘
(金明)



嶋崎 浩司
(湖北)



丸山 絵里
(橋立)



氏名
(担当地区)